

クローバーつうしん

CLOVER TIMES



2022年10月1日 第58号

公益財団法人 金森和心会

クローバー子供図書館 / 発行

〒963-8851 郡山市開成6-346-1

TEL/FAX 024-932-2118

<http://www.k-washinkai.or.jp/clover/clover.html>



「クローバー子供図書館との出会い」

クローバー子供図書館利用者父

豊田 則夫

私が生まれた町には図書館がなかった。本屋もなかった。本を読む機会は学校の図書室の貸し出しが頼りだった。学校図書館の蔵書は限られ、新書が増えることも少ない。自分が子どもの頃を振り返ると、本と接する機会や読書量は圧倒的に少なかった。ちなみにその町では全国から「もったいない本」の寄付を募り、駅前小さな図書館をつくった。町の子どもたちが図書館を利用する環境は整ったようである。

私の家族がクローバー子供図書館を知ったのは、長男が落とした幼稚園の名札をクローバー子供図書館の方が拾い、電話をかけてくださったことがきっかけだった。それ以来クローバー子供図書館を利用する生活が始まった。

長男は自分が興味を持った本を直感で借りてくる。電車や新幹線の本から始まり、恐竜の本、『世界の国ぐに大冒険』『歴史を生きた78人』…、そして今は歴史の本。恐竜の本が好きだった頃、クローバー子供図書館からすすめられた本が『しんかのお話365日』。この本をきっかけに小3の夏休みの自由研究で貝化石「イノセラムス」について調べ、校内自由研究で銀賞をいただいた。うれしかった長男はクローバー子供図書館に銀賞受賞の報告に行き、館長さんと一緒に記念写真を撮り、作品とともに図書館に飾ってもらったことは良い思い出である。

次男は、幼稚園入園前からクローバー子供図書

館に通いはじめたためか、字を読むことができるようになるのが早かった。兄とは違って本を選ぶのに時間がかかる次男は母に薦められる本を読んできた。お気に入りには『寺村輝夫の王様シリーズ』『迷路シリーズ』、恐竜の本、折り紙の本…。兄とは違って本をじっくり読み、本の世界を楽しんでいる様子が感じられる。折り紙の本を自分で読解し、今ではたくさんの作品を折ることができる折り紙の達人になった。

兄達がやることに興味津々で負けず嫌いな三男も、クローバーデビューが早かった。お気に入りには『よかったねネッドくん』『ふたりはともだち』『コンガラガッチシリーズ』『100かいだてのいえシリーズ』…。「これ読んで。」と本を持ってきて、ゴロンとなって読み聞かせをおねだり。自分で読んだり挿絵で喜んだりと本を楽しむ。次はポエムに挑戦したいと言っている。

3人の本との向き合い方は三者三様だが、子どもたちは近くに児童図書館があるという恵まれた環境にすることに気が付いているのだろうか。将来、そのことに気づくことを願いつつ、今は図書館で本を選ぶ瞬間、本と触れ合う時間、新しい本との出会いを大切にしたい。そして、たまには図書館に連れて行ってくれる母親にも少しは感謝してほしい。

これも、図書館の近くに名札を落としてクローバー子供図書館に通うきっかけをつくった、長男のフラインプレーである。



2019.10. 当館にて館長と記念撮影



2019.9. コカリナコンサート親子で体験



子ども講座 復活!!

第26回子ども講座
「おうちでクリスマスブーツをつくろう」

対象：3歳から（幼稚園年少相当）
参加費：無料
11月1日(火)より材料キットを配布
先着10名様まで

詳細は10/18(火)
ホームページまたは
館内ポスターで
ご確認ください。

夏休み貸出2倍

7/21~8/24



おすすめの本

開成小2年 わたなべはるまさ

虫たちのせかいをたんけんしている
ような気分になれる「栗林さんの虫
めがね 発見・変身」です。ぼくの
すきなカマキリもほかの虫も見ている
と考えていることや話していること
がわかるような気がしてくる。
ぼくの大好きな本です。



「栗林さんの虫めがね1 発見」
「栗林さんの虫めがね2 変身」
栗林慧/著
フレーベル館



夏休み貸出2倍

7/21~8/24



おすすめの本

開成小1年 よねだりょうへい

ぼくのすきな本は「クルマザウルス
たんけんたい」です。いろいろな車が
きょうりゆうにへんしんして、おたか
らをさがすところがおもしろいです。
みなさんぜひよんでみてください。



「クルマザウルス
たんけんたい」
マイケル・ウェイト/作
浜崎絵梨/訳
岩崎書店



イベントのお知らせ

※読書週間 ~この一冊に、ありがとう~

①「おすすめの本の貸出」

②「貸出2倍」

10月27日(木)~11月9日(水)

※「本のリクエストポスト」

12月6日(火)~12月17日(土)

※「しおりプレゼント」

12月20日(火)~先着50名



「癒しの空間」

中川たか子

丸いドーム型の何とも不思議な建物が図書館だと知ったのは、もう十数年前のことです。まだ幼い子どもたちと一緒に幼稚園の帰りに立ち寄るようになりまして。木のぬくもりが感じられる館内で日常の慌ただしさから少し離れ好きな本を選ぶひと時が私にとって癒しの時間です。はりきって沢山借りて、自分用の本は全部読めなかったということも多々あります(笑)。
子ども達が大きくなり忙しくなると、一緒に図書館に行く機会は減ってしまいましたが、幼いころから本に触れ親しんだ経験は様々な場面で力を発揮してくれるものだと感じていきます。デジタル化が急速に進み一人一台タブレット時代となりました。電子書籍も数多く登場していますが、私はやっぱり本を手にとって子どもと一緒に選んだり、本を通しての時間を大事にしていきたいです。
なかなか図書館に行けない時期もありますが、また行きたくなる図書館です。職員の皆様いつも温かく接して頂きありがとうございます。これからもよろしくお願いします。

秋におすすめの絵本

「どんぐり」
こうやすずむ/作
福音館書店



「きょうのごはん」
加藤休ミ/作
偕成社

開館日のご案内

火・水・木・金・土(第1・3・5)

月末は休館します。

※詳細はホームページで
ご確認ください。

編集後記

スポーツの秋、食欲の秋、そして読書の秋が来ました。最近では朝晩涼しくなり、読書に励む方も多々思っています。クローバー子供図書館も秋の読書週間に合わせて、いろいろなイベントを行います。参加してどんな本に出会えるのか楽しみですね。そして、おもしろかった本や感動した本などを紹介して下さい。お待ちしております。